

18. ^{やどろぎ}寄 (神奈川県西部)

寄は、西丹沢東部の山麓にひろがり、丹沢を源とする清流中津川・自然豊かな緑・野鳥の観察をしながらちょっとしたハイキングを楽しめる所です。

小田急線新松田駅前から寄行きのバスで、揺られること約 30 分、終点の寄に到着します。バスを降りたところに自然休暇村管理センターが有るので、立ち寄って色々な情報を得ることが出来ます。

探鳥コースに使用可能なトイレは、バス終点の南側に隣接する“みやま運動公園”内、“寄テニスコート”そば、“寄大橋”のたもとの3カ所です。

また帰りのバスの時刻は、季節により運行時刻が変わるので出発前に確認しておくのが賢明です。ここからコースの折り返し地点迄約 4 km、高低差約 120m の緩やかな登り勾配で、道路は全部舗装されているので運動靴でも良いが出来れば軽登山靴が良いです。寄大橋までは、車道を歩くので車には注意が必要です。特にキャンプや釣りのシーズンは路上駐車が多いので充分注意して下さい。

コースの途中には雨宿りする場所が無いので雨具の用意を忘れないこと。また飲料水の補給場所も無いので特に夏場のカンカン照りの時は、猛暑の対策と水筒は欠かせません。ジュースの自動販売器は清流荘の1カ所のみです。

出発点の大寺橋の付近、川岸にはハクセキレイやキセキ

レイ、対岸の木々の間や草原では、ホオジロ・カワラヒワが見られ、ときにはメジロ・シジュウカラ・オナガの混群に出会えます。進行方向右側には畑が少しの間続き、冬場はヒバリ・アオジ・カシラダカ等が観察できます。通年ではスズメ・キジバト・ヒヨドリ・ムクドリ・ハシブトカラス・ハシボソカラスが見られます。

出発地点から約 800m 進むと、進行方向右から新梨沢が流れ込んでいる場所があり、このあたりではカワセミヤキセキレイに出会う事も出来ます。稲郷沢と中津川の合流地点にあたる大きく曲がっている場所の河原では、カワガラス・コサギ・アオサギ・ヤマセミに注意。

ここから少し上流の崖下の樹間や草むらからは、ウグイスやミソサザイの声も聞かれます。特に清流荘付近では、ミソサザイが繁殖している可能性があります。ここから秦野峠林道が始まり、杉ノ沢出合を右に



コースタイム 3～4時間
地形図：1:25,000 秦野 案内図：丹沢（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

行くと三廻部（みくるべ）林道に、寄大橋を左に曲がると秦野峠に行けます。寄大橋の袂には、ひかん桜が数本有り秋には可憐な淡いピンクの花を楽しむこともできます。

ここから更に直進するとキャンプ場の跡地に入り、冬場このあたりの山の傾斜面では、シロハラ・ジョウビタキ・ルリビタキ等の声を耳に出来ます。樹間をコゲラが忙しく餌を探しているのに出会えるのもこのあたりです。

さらに進んでウシロ沢の流れを越えるあたりが折り返し地点となります。この付近でゆっくり昼食を取り、あたりに注意をしているとアオゲラ・アカゲラを観察することも出来ます。たまには上空にも注意して下さい、トビ・クマタカ・オオタカ・ノスリ・ハイタカなどの猛禽類を観察する事が出来ます。

寄からはハイキングコースや登山コースも多く、帰りのバスは何時も込むので30分位は待つ積りで早めにバス停へ向かいましょう。

春休み・夏休み・ゴールデンウィーク等の土日は、キャンプや釣りを愉しむ人たちが多く、探鳥するにはその時期を避けると沢山の鳥に会う事が出来ます。
(上野宗弘)



観察できた鳥 (1998年10月～から2000年9月)

カルガモ・コサギ、ダイサギ、アオサギ、クマタカ、トビ、ノスリ、オオタカ、ハイタカ、ツミ、チョウゲンボウ・コジュケイ・キジ・キジバト・アオバト・カッコウ・ツツドリ・アマツバメ・カワセミ・アオゲラ・アカゲラ・コゲラ・イツツバメ・ツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ビンズイ・ヒヨドリ・モズ・カワガラス・ジョウビタキ・ルリビタキ・クロツグミ・シロハラ・ツグミ・ウグイス・オオルリ・ヒガラ・シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・メジロ・ホオジロ・ホオアカ・アオジ・カワラヒワ・マヒワ・イカル・シメ・スズメ・ムクドリ・カケス・オナガ・ハシボソガラス・ハシブトガラス

あし

- ・小田急線新松田／JR御殿場線松田駅下車 富士急行バス 寄行き 終点下車
- ・交通機関問い合わせ先：ページ117参照